

授業科目名 (英文名)		必修の区分	単位数	開 講 年 次
科学と宗教 (Science and Religion)		選択	2	1年 前期
講 師 名	所 属	オフィスアワー・場所		連 絡 先
岡田真美子	環境人間学部	環境人間学部 E303 研究室 木曜日 11.00-12.30		okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp
講義目的	人文系以外の学生ための宗教入門。宗教的感性は科学的思考とは対極のものではなく、両者には深いつながりがある。客観科学を専攻する学生の宗教的感性を磨き、エレガントな哲学的視点をうることを目指す			
講義内容 授業計画	<p>生命科学、物質科学、工学の視点に加えて介護や経済も射程に入れて宗教的感性への入門講義をおこなう。多様な宗教のあり方を学んだ後、複雑系の科学、環境科学など現代科学の知見と宗教の示す叡智の接点を探る</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 04/12 プロローグ 自分の宗教観を問い直す 2. 04/19 単数形の神様入門 1—ユダヤ教・キリスト教 3. 04/26 単数形の神様入門 2—イスラーム教(科学者/原理主義) 4. 05/10 複数形のカミサマ入門—ヒンドゥー教(アートマンとフラクタル) 5. 05/17 仏の教え入門 —科学的な宗教 6. 05/24 業思想とエネルギー保存の法則(循環と輪廻) 7. 05/31 宇宙という生命体 8. 06/07 「もったいない」と日本の生命観 9. 06/14 ネットワーク学の今昔—華厳哲学と IT 科学 10. 06/21 縁と新しい経済ネットワーク 11. 06/28 いのちのリレー—捨身と移植医療 12. 07/05 介護のこころ (医と慈悲) 13. 07/12 エピローグ — 調査 ワークショップ レポート提出 			
テキスト	講義毎に参考文献一覧を配布。			
参考文献	いのちに関する参考文献の一例：『感性哲学 5』東信堂 2005			
成績評価 の基準	レポート評価および事後感想の提出状況を参考にする			
履修上の 注意 履修要件	毎講義終了時 (a)講義中、初めて知ったこと(b)インパクトを受けたこと (c)さらに詳しく知りたいと思ったことを書いた事後感想を提出してもらう。これとレジュメはきちんとファイルしてゆくこと。			
備 考	レポートはいずれか一つの講義トピックを選び、毎回提出する事後感想中(c)の内容を参考文献などを用いて、調査研究して書く。A4 40 字×40 行 3 枚			

遠隔授業のはじまりにあたっての注意

講義中継開始: 自動的に定時に始まり、15 分経っても教員が到着しないときはキャンセルされる

突発的な休講: 開始予定時刻を 30 分過ぎても、①教員が到着しないときや②中継できる状態にならないときには自動的に休講となる [こんなことが起こらぬよう最大限の努力をします]

座席 講義室真ん中付近および少ししろの座席に座ったほうがスクリーンがきれいに見える

・見えにくいとき、映るべきものが映ってないとき、その他問題のあるときは遠慮せずすぐに挙手する

コミュニケーションカード は講義終了と同時に提出になるので講義中に書き終えること

[TA さんは次回講義開始前にレジユメとともに配布してください]